



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部長兼企画管理部長 (氏名) 渡邊 繁樹

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,144	31.2	823	26.0	786	25.6	467	△13.2
23年3月期第3四半期	7,731	51.1	653	389.1	626	336.8	538	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 450百万円 (△16.2%) 23年3月期第3四半期 537百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	38.16	—
23年3月期第3四半期	43.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,104	42.2	3,842	42.2	3,842	42.2
23年3月期	9,530	37.1	3,539	37.1	3,539	37.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,842百万円 23年3月期 3,539百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	24.1	1,000	14.0	950	15.0	620	△9.5	50.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	13,029,500 株	23年3月期	13,029,500 株
24年3月期3Q	768,971 株	23年3月期	767,964 株
24年3月期3Q	12,261,093 株	23年3月期3Q	12,265,085 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期累計期間」という）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により大きく落ち込んでいた生産や個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、電力の供給不足、タイにおける洪水による製造業への影響もあり、また、欧州の政府債務危機などを背景とした世界的な信用不安や歴史的な円高の長期化による景気の下振れが懸念される等、先行きは不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、第2四半期までは順調に推移しておりましたが、第3四半期からは世界的な景気の落ち込みの影響を受け、アンチモン事業・金属粉末事業ともに販売は低調でありました。

その結果、当第3四半期累計期間としての業績は第2四半期累計期間までの対前年同期比増加率と比べて翳りが見られ、売上高は前年同期比2,413百万円増収（31.2%増収）の10,144百万円、営業利益は169百万円増益（26.0%増益）の823百万円、経常利益は160百万円増益（25.6%増益）の786百万円、四半期純利益は税金費用の増加が影響し、71百万円減益（13.2%減益）の467百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

#### [アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、8月、9月に若干の上げ基調が見られましたが、第3四半期から再び下げに転じました。しかし、当第3四半期累計期間の平均はトン当たり14,891ドルで、前年同期の9,899ドルに比して50.4%アップという高い水準で引き続き推移しました。

一方、同事業の販売状況につきましては、当第3四半期累計期間の販売数量は第3四半期に入ってから販売低調が響き、前年同期比403トン減少（7.8%減少）の4,768トンとなりましたが、原料相場が依然として高水準にあり、それに伴う製品販売単価の前年同期比アップにより、同事業の当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期比1,876百万円増収（42.2%増収）の6,324百万円となりました。セグメント利益は、売上原価率の低減に鋭意努めた結果、前年同期比248百万円増益（100.1%増益）の496百万円となりました。

#### [金属粉末事業]

同事業においては、東日本大震災直後は自動車部品に連動する粉末冶金向け金属粉を中心に国内需要が減少したものの、サプライチェーンの復旧に伴い需要も回復し順調に推移していましたが、一部スマートフォン、タブレット型多機能端末を除く情報関連機器の世界的な需要の落ち込みを受けて、同事業の牽引役である電子部品向け微粉末金属粉も第3四半期に入ってから需要減退を余儀なくされました。

用途別に販売状況の実績を見ますと、自動車向けが主用途となる粉末冶金向け金属粉の当第3四半期累計期間の販売数量は、前年同期比55トン減少（3.9%減少）の1,356トン、微粉末金属粉は軟磁性材用金属粉の新規販路開拓が寄与し、前年同期比194トン増加（57.1%増加）の534トンを上上げ、全体では前年同期比139トン増加（7.9%増加）の1,889トンでありました。

その結果、同事業の当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期比538百万円増収（16.5%増収）の3,801百万円、セグメント利益は販売数量が増加したものの、本年4月の新工場稼働を見据えた要員新規採用による労務費の増加、および生産設備の増強に伴う減価償却費の増加等を主因とする売上原価の増加があったため、前年同期比84百万円減益（22.1%減益）の297百万円となりました。

#### [その他]

当第3四半期累計期間における売上高は18百万円（前年同期比1百万円減収、6.6%減収）、セグメント利益は18百万円（前年同期比1百万円減益、8.2%減益）でありました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,917百万円となり、前連結会計年度末と比べ750百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が339百万円、原材料及び貯蔵品が149百万円増加しましたが、現金及び預金が1,110百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,180百万円となり前連結会計年度末に比べ325百万円増加しました。これは主に建物及び構築物が31百万円、機械装置及び運搬具が88百万円減少しましたが、有形固定資産のその他（建設仮勘定等）が457百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、9,104百万円となり、前連結会計年度末と比べ425百万円減少しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,397百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,237百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が1,233百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,864百万円となり前連結会計年度末に比べ508百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加547百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、5,262百万円となり、前連結会計年度末と比べ728百万円減少しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,842百万円となり、前連結会計年度末と比べ303百万円増加しました。これは主に剰余金の配当による減少147百万円がありましたが、四半期純利益による増加467百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.2%（前連結会計年度末は37.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、売上高、四半期純利益はほぼ通期の業績予想の水準のとおり、営業利益、経常利益は通期の業績予想を若干上回る水準で推移しております。

現在の業績予想は、中国の経済成長ペースの鈍化、欧州の政府債務危機、それから派生した欧州通貨危機、歴史的な円高の長期化などによる景気の下振れ懸念リスクを踏まえた上での業績予想としております。

原料価格の動向などによっては、業績予想が変動する可能性はありますが、先行き不透明な状況にあるため、平成23年11月2日に公表しました業績予想を据え置くことといたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,026,257	916,029
受取手形及び売掛金	2,234,189	2,574,122
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	1,117,160	1,198,604
仕掛品	144,150	100,697
原材料及び貯蔵品	893,056	1,042,886
その他	259,729	93,404
貸倒引当金	△7,371	△8,823
流動資産合計	6,668,172	5,917,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	616,624	585,220
機械装置及び運搬具(純額)	461,166	372,273
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	78,892	535,897
有形固定資産合計	2,635,274	2,971,983
無形固定資産	25,752	40,761
投資その他の資産	193,656	167,625
固定資産合計	2,854,683	3,180,370
繰延資産	7,611	6,410
資産合計	9,530,466	9,104,701

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,071,138	838,095
短期借入金	1,993,200	1,853,200
未払法人税等	187,147	70,119
賞与引当金	101,952	45,069
その他	281,158	590,995
流動負債合計	4,634,596	3,397,480
固定負債		
社債	330,000	302,000
長期借入金	512,300	1,059,400
退職給付引当金	276,574	307,389
その他の引当金	20,150	11,786
負ののれん	64,024	40,310
資産除去債務	35,385	35,693
その他	117,869	107,958
固定負債合計	1,356,303	1,864,537
負債合計	5,990,899	5,262,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,107,110	2,427,906
自己株式	△133,145	△133,428
株主資本合計	3,556,817	3,877,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,249	△34,647
その他の包括利益累計額合計	△17,249	△34,647
純資産合計	3,539,567	3,842,683
負債純資産合計	9,530,466	9,104,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,731,499	10,144,931
売上原価	6,496,531	8,713,415
売上総利益	1,234,968	1,431,515
販売費及び一般管理費	580,990	607,627
営業利益	653,977	823,888
営業外収益		
受取配当金	1,352	1,742
負ののれん償却額	23,713	23,713
助成金収入	3,045	715
その他	2,133	6,309
営業外収益合計	30,245	32,481
営業外費用		
支払利息	42,313	40,416
為替差損	10,891	11,311
その他	4,851	18,151
営業外費用合計	58,056	69,879
経常利益	626,166	786,489
特別利益		
退職給付制度改定益	69,753	—
特別利益合計	69,753	—
特別損失		
固定資産除却損	207	6,333
固定資産売却損	—	44
子会社清算損	—	611
ゴルフ会員権評価損	—	1,900
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30,389	—
特別損失合計	30,597	8,888
税金等調整前四半期純利益	665,322	777,601
法人税、住民税及び事業税	144,679	171,373
法人税等調整額	△18,321	138,296
法人税等合計	126,357	309,670
少数株主損益調整前四半期純利益	538,964	467,930
四半期純利益	538,964	467,930



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	538,964	467,930
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,492	△17,397
その他の包括利益合計	△1,492	△17,397
四半期包括利益	537,472	450,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	537,472	450,533

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,448,291	3,263,455	7,711,747	19,752	7,731,499	—	7,731,499
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	30,471	30,471	1,249	31,721	△31,721	—
計	4,448,291	3,293,926	7,742,218	21,002	7,763,220	△31,721	7,731,499
セグメント利益	248,240	381,736	629,977	20,367	650,345	3,632	653,977

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。  
2. セグメント利益の調整額3,632千円はセグメント間取引の消去3,632千円であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,324,524	3,801,966	10,126,491	18,440	10,144,931	—	10,144,931
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	31,571	31,571	990	32,561	△32,561	—
計	6,324,524	3,833,537	10,158,062	19,430	10,177,492	△32,561	10,144,931
セグメント利益	496,621	297,272	793,893	18,695	812,589	11,298	823,888

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。  
2. セグメント利益の調整額11,298千円はセグメント間取引の消去11,298千円であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。